

自然科学や医療分野
5人に奨励金を贈呈

ウェルシーズ財団

県内の若手研究者の基礎研究を支援する一般財団法人「ウェルシーズ財団」(熊本県人「ウェルシーズ財団」)は本市、井出博之代表理事)は15日、自然科学や医療分野の5人に奨励金30万〜50万円を贈った。研究をリードする人材を発掘しようとする年度、対象を公募している。2023年度は、環境に配慮した生物肥料活用に向けた技術改良に取り組む熊本大大学院の蔡宜倫助教(38)や、非アルコール性脂

肪肝炎の治療手法を探る羽根田昌樹さん(30)らに贈呈。熊本市で授与式があり、井出代表理事が「日本人の



奨励金の目録を受け取った若手研究者とウェルシーズ財団の関係者たち=15日、熊本市中央区

研究には独創性が必要。立派な仕事に発展させてほしい」と激励した。(馬場正広) そのほかの対象者は次の通り(敬称略)▽富永悠幹(東海大大学院)▽神野奈穂(熊本大大学院)▽田代美空(同)